

教科	国語	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	3年1組～4組（選択）・普通コース
使用教科書	『国語表現 改訂版 』（教育出版）				
その他	国語表現 改訂版 演習ノート[完全準拠]（必要にあわせてプリント配布）、改訂版 本物の力がつく現代語練習帳ことのは（いっずな書店）				

1 学習の到達目標

<p>①目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりする力を高める。</p> <p>②話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめる力を高める。</p> <p>③相手の立場や異なる考えを尊重しながら話し合い、課題を解決する態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	教材名	指導内容	評価の観点	配当時間
4	<ul style="list-style-type: none"> 授業開き 現代語練習帳ことのは 基礎語 1～7 言葉に変える 速く正確に書き写す メモを取る・メモで伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み方の確認と本授業の選択理由をまとめた作文を書く。 基礎語として「生活や社会」「心の動き」「物事のありさま」などに関連する語句を演習形式で行い語彙力を高める。 聴写・視写を行う。 適切なメモの取り方を学ぶことで、与えられた情報を取捨選択し、整理・記録ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く 能力 書く能力 関心・意欲・態度 知識・理解 	<ul style="list-style-type: none"> 1 3 1 1
5	<ul style="list-style-type: none"> 現代語練習帳ことのは 必修語 1～12 言葉に変える 絵を言葉にする 面接―社会との接点 自己を分析する 	<ul style="list-style-type: none"> 必修語として「学ぶこと・知ること」「心の動き」「素振り・態度」「物事の意味」「表現すること」などに関連する語句を演習形式で行い語彙力を高める。 絵や地図を言葉で表現することで、相手に伝えることの難しさを学び、うまく伝えるための表現方法を自分自身で工夫する力を身につける。 自己分析を通して自分を理解し、自己分析ノートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く 能力 書く能力 関心・意欲・態度 知識・理解 	<ul style="list-style-type: none"> 3 1 2
6	<ul style="list-style-type: none"> 現代語練習帳ことのは 必修語 13～24 自己アピール文 志願先の情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 重要語として「生活や社会・人との関わり」「心の動き」「物事のありさま」「物事のなりゆき」などに関連する語句を演習形式で行い語彙力を高める。 自己分析ノートをもとに、記録を整理しながらエピソード等を加え、自己アピール文を書く。 オープンキャンパスや学校案内等をもとに志願先の情報を整理し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く能力 関心・意欲・態度 知識・理解 	<ul style="list-style-type: none"> 5 3 2
7	<ul style="list-style-type: none"> 現代語練習帳ことのは 重要語 1～12 「志願（志望）理由書」の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> 重要語として「行為・行動」「状態・状況」「感覚・価値・判断」「文章・表現」「概念・用語」などに関連する語句を演習形式で行い語彙力を高める。 誤りやすい表現・適切な文の切り方・つなぎ方について学ぶ。 それぞれの進路にあった「志願（志望）理由書」の書き方を学び、実際に書く時に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く能力 関心・意欲・態度 知識・理解 	<ul style="list-style-type: none"> 3 3
9	<ul style="list-style-type: none"> 現代語練習帳ことのは 重要語 13～24 コラムを読む（投げ込み教材） 	<ul style="list-style-type: none"> 重要語として「生活・社会・関係」「心理・心情」「概念・用語」「様子・性質」「態度・事態」「漢文語」などに関連する語句を演習形式で行い語彙力を高める。 地域紙・全国紙のコラムの中から気になる文章を原稿用紙に書き写し、その感想をまとめる。その中で情報を収集する能力を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く能力 関心・意欲・態度 	<ul style="list-style-type: none"> 4 6
10	<ul style="list-style-type: none"> 小論文Ⅰ 意見を論理的に述べる文章の「型」 	<ul style="list-style-type: none"> 小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し具体的なトレーニングをとおして意見と根拠を短文で書く。 文章構成のバリエーションを学ぶとともに、特に小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く能力 関心・意欲・態度 	<ul style="list-style-type: none"> 3 1

	テーマ型小論文の 実際	・テーマ型小論文の特徴を知り、「問い」と「意見」と「根拠」に着目しながら実際に執筆する。	知識・理解	4
1 1	・小論文Ⅱ 要約の方法	・文章を要約する際の基本的な観点を理解し、実際に要約文を書くトレーニングをとおして、的確な読解力と適切な表現力を身につける。	書く能力	2
	課題文から問いを 見つける	・課題文を読んでから解く小論文の特徴を知り、課題文の論点を的確に見つけることや、課題文の要約、引用の仕方などに習熟する。	関心・意欲・ 態度	3
	課題文型小論文の 実際	・課題文の小論文を実際に執筆する。	知識・理解	3
1 2	・声の表現 スピーチの方法	・スピーチのための事前準備について理解し、本番の体験をとおして、その方法を学ぶ。	話す・聞く 能力	2
	声の発表会	・他者の興味・関心をひく本の紹介と朗読の工夫について習熟する。	関心・意欲・ 態度	4
1	・コンクールに投稿して みよう	・今まで学習した文章の書き方の技術を駆使して、実際に様々なコンクールに投稿するための原稿作成をする。	書く能力 関心・意欲・ 態度	6
2	・自分史を作成しよう	・これまでの自分の人生を振り返り一覧にする。新生活に向け自身の高校時代を振り返る。	書く能力 関心・意欲・ 態度	4

3 課題・提出物等

各学習活動において取り組んだ学習プリントや書いた文章の原稿、レポート類、国語表現ナビは全て提出してもらいます。提出された物は添削をして後日返却します。添削されて返却されたプリント類は必ず見返し、再提出が必要な場合は必ずやり直して再提出します。

4 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。			
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。
これらの観点を踏まえ、各授業や学習活動の具体的な評価方法としては、 ・授業中の学習の様子（積極的に課題に取り組んでいるか、発表・発言をしているか） ・与えられた課題ごとの作文・小論文などの作品、スピーチの原稿、レポートなどの提出物 ・語彙力を高めるための小テスト 各学期・年間の評定は、全ての学習活動から総合的に判断します。			